

「月刊」フューネラルビジネス トップマネジメントセミナー2019

変革迫られる葬祭業界の“次なる一手”は何か？

10:00～11:00

第1 講座

ゲスト講演【人口減少と未来】



人口減少 日本で 葬祭業に 起きること

多死社会の現実と
葬祭業の役割

河合 雅司 作家・ジャーナリスト／
一般社団法人人口減少対策総合研究所 理事長

かわい まさひと ●1963年、名古屋生まれ。中大学卒業。産経新聞社論説委員を経て転職。現在、高知大学客員教授、大正大学客員教授、東日本国際大学健康社会戦略研究所客員教授、日本医師会総合政策研究機構客員研究員、産経新聞社客員論説委員のほか、厚労省検討委員会「ひまわり要章」、農水省第三者委員会委員なども務める。2014年に「ファイザー医学記事賞」の大賞、18年にNPO法人ひまわりの会「ひまわり要章」の個人部門賞、19年に「第80回文芸春秋読者賞」を受賞。人口減少日本で起きることを克明に描いた著書「未来の年表」（講談社現代新書）、続編の「未来の年表2」（同）、最新刊の「未来の地図帳」（同）はいずれもベストセラーとなり、累計で85万部（19年8月末現在）を突破した。これら以外にも「未来の呪縛」（中公新書ラクレ）、「日本の少子化 百年の迷途」（新潮社新潮選書）、「河合雅司の未来の透視図」（ビジネス社）など著書多数。新聞・雑誌への連載のほか、数多くのテレビ・ラジオ番組に出演。

11:10～12:10

第2 講座

基調講演【トップランナーの事業戦略】



2020年に 向けた ティアの 成長戦略

さらなる飛躍のための
“次なる一手”

富安 徳久 株式会社 代表取締役社長

とみやす のりひさ ●1960年、愛知県宝飯郡一宮町金沢（現・豊川市金沢町）の果樹園農家の長男として生まれる。大学の入学式直前、葬儀のアルバイトで感動して、18歳で葬儀の世界に入る。父親の病氣のために愛知県に帰り、東海地方の大手互助会に転職。生活保護者や行方不明者の葬儀を切り捨てて会社の方針に納得できず、独立を目指す。97年、㈱ティア（証券コード2485）設立。翌年1号館「ティア中川」をオープン。適正料金を完全開示するという業界革命を起こす。2019年9月現在、直営店・FC店合わせて116店舗を展開。全国展開を目標に掲げ「最期の、ありがとう。葬儀会館ティア」をコアブランドスローガンとして、日本で一番「ありがとう」と言われる葬儀社を目指している。「最期の、ありがとう。新・ぼくが葬儀屋になった理由（わけ）」（18年、Wonder Note刊）ほか著書多数。全国各地で講演活動も行っている。

（12:10～12:50 昼食休憩）

15:40～17:00

第5 講座

パネルディスカッション【多角化戦略】

多角化事業の 成功までの道程

介護・看護、ペット葬、遺品整理、飲食etc.
葬儀外事業展開のポイント

○なぜ、その事業を選択したのか
○それぞれ直面した課題・失敗と得られたメリット
○本業とのシナジーを狙うべきか？
あくまで独立したビジネスと捉えるか？

村本 隆雄

フューネラルマスターズクラブ／
株式会社ホールディングス 代表取締役

むらもと たかお ●1972年生まれ。創業から57年。北海道恵庭市に本社を構える老舗葬儀社の3代目。91年メリアルビルむらもと入社、99年取締役、2010年代表取締役に就任する。恵庭市、札幌市、札幌市、旭川市に「ワズハウス」「香華院」を展開。介護事業、飲食事業、供養納骨事業併せ、ライフエンディングサービスの確立を見据える。令和元年、新世代葬儀社ネットワーク「フューネラルマスターズクラブ」をアーバンフューネスクーポレーション・ライフアンドデザイングループと誕生させ、業界の活性化を目指す。



丹野 浩成

株式会社東京中央セレモニーズセンター
代表取締役社長

たんの ひろあき ●1950年東京生まれ。73年に城西農協（JA城西）金融部に入職、76年にJA城西の葬祭担当に任命される。96年、東京23区下の南西部に位置する66JA（城西・千歳・站・大田・大森・杉並）が広域合併し、東京中央農業協同組合（JA東京中央）が発足。それに伴い開設されたJA東京中央セレモニーズセンターのセンター長に就任する。2000年、JA東京中央の100%出資で設立された株式会社東京中央セレモニーズセンター社長に就任。現在に至る。全国JA葬祭研究会会長（07年～17年）。著書に「心のふれあい」を永遠に」（総合ユニコム刊）がある。



佐藤 達樹

株式会社 代表取締役

さとう たつき ●1983年、福島県いわき市生まれ。専門葬儀社に10年在籍後、2015年に株式会社を設立。「故人や遺族の想に寄り添いたい」との強い思いから、翌16年、現社名である株式会社を名称変更。葬祭部門を主軸とし、他事業への進出を計る。現在、「最期の住み慣れた自宅を迎えたい」というニーズに応え、葬祭、訪問看護、訪問介護、居宅介護支援、福祉用具貸与・住宅改修など、5つの事業を手がけている。



※セミナープログラムおよび登壇者は、開催までに変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

14:00～15:20

第4 講座

パネルディスカッション【埋葬サービス】

新たな埋葬サービス [樹木葬・海洋散骨]の 勝算と今後の展開

○埋葬サービスに参入した経緯・現在の状況
○樹木葬・海洋散骨は埋葬ビジネスの新たな軸となるか
○埋葬サービスの充実と葬儀施行のシナジーは？



菅原 裕典

株式会社 代表取締役

すがわら ひろのり ●1960年仙台市生まれ。東北学院大学卒業後、名古屋の葬儀社で1年間修行。その後1年の準備期間を経て85年3月に父親とともに南宮から葬儀社を設立。91年株式会社に変更。2001年に代表取締役に就任し、現在に至る。01年4月より社会福祉法人無量壽会理事長。10年秋清月記に改称。現在、仙台市を中心に、「仙台迎賓館 高苑」、「葬祭会館清月記」18か所、ファミーユブランドの葬祭会館2か所、家族葬会館「みおくり邸」2か所、「ふたつんギャラリー清月記」4店舗を展開する。11年、飲食事業部「四季の彩り 一乃庵」を発足し、飲食事業の直営化を図り、葬祭以外にもケータリングサービスを行う。12年には「ライフスタイルコンシェルジュ」を開業し、トータルライフコーディネートの無料相談サービスを開始。14年、予約制「リバー」事業「ザ・ロイヤルリバー」をスタート。15年に墓石全館を扱う「石仲」の運営を開始。16年には「ライバル」事業部門「リアフォーユ」をグループ内で展開。また「キッズ・デュオ」のエリアフランチャイズとして学童保育にも取り組むほか、19年には福島・土湯温泉の旅館「土湯別荘 里の湯」の経営を開始するなど、ライフタイムイベントの様々なシーンに関わる事業運営を行っている。

藁谷 聡

株式会社 代表取締役

わらが いさる ●1974年生まれ。いわき明星大学大学院修了後、読売新聞社を経て、2004年読売新聞の専業主婦として入社。いわき市議会議員を務める父・利明氏が98年に創業した同社を、利明氏の長男就任に伴い、07年に二代目として受け継ぐ。社長自らBGMを演奏を提供するほか、ロケット産業への新規参入、ボランティア団体「いわきグリーンクラブ」の設立（07年）など、他社にはない取り組みで存在感を発揮している。



中田 真寛

株式会社 代表取締役

なかた まさひろ ●1974年和歌山県白浜町に生まれる。96年、花園大学文学部政治経済学系を卒業後、同年4月に中田入社。2010年、専務取締役に就任。15年には梅吉食品代表取締役就任。18年1月、創業である父・中田隆雄氏の急逝に伴い、代表取締役に就任し現在に至る。（一社）日本海洋散骨協会理事、（一社）日本石材産業協会加盟店、紀伊田辺ライオンクラブ会員、田辺商工会議所議員、白浜商工会会員なども務める。

